

DXサイクルに適応するためのSAP ALM とその価値

Makoto Tokiwa

アジェンダ

- **DXにおけるSAP ALMの位置づけ**
- **導入管理プラットフォームとしてのSAP Cloud ALM**
- **運用管理プラットフォームとしてのSAP Cloud ALM**
- **SAPサポートを最大限活用するためのSAP Cloud ALM**

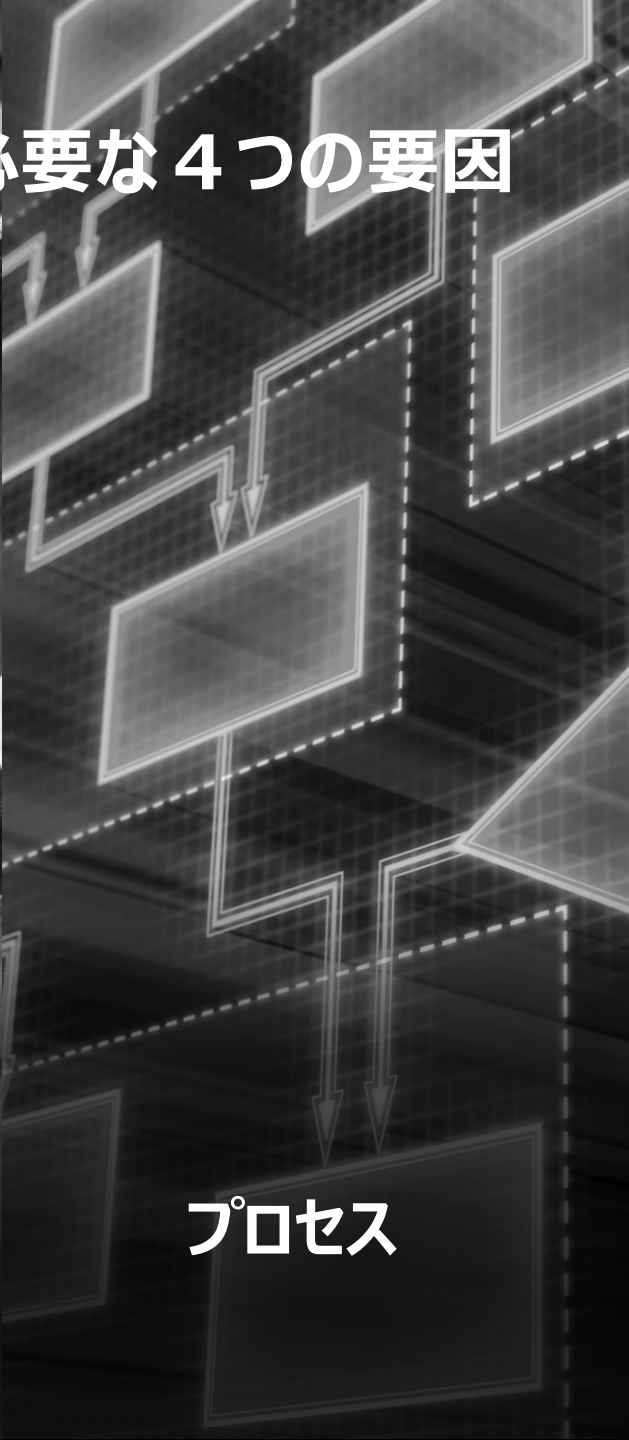
DXにおけるSAP ALMの位置づけ



DXの成功に必要な4つの要因



戦略



プロセス

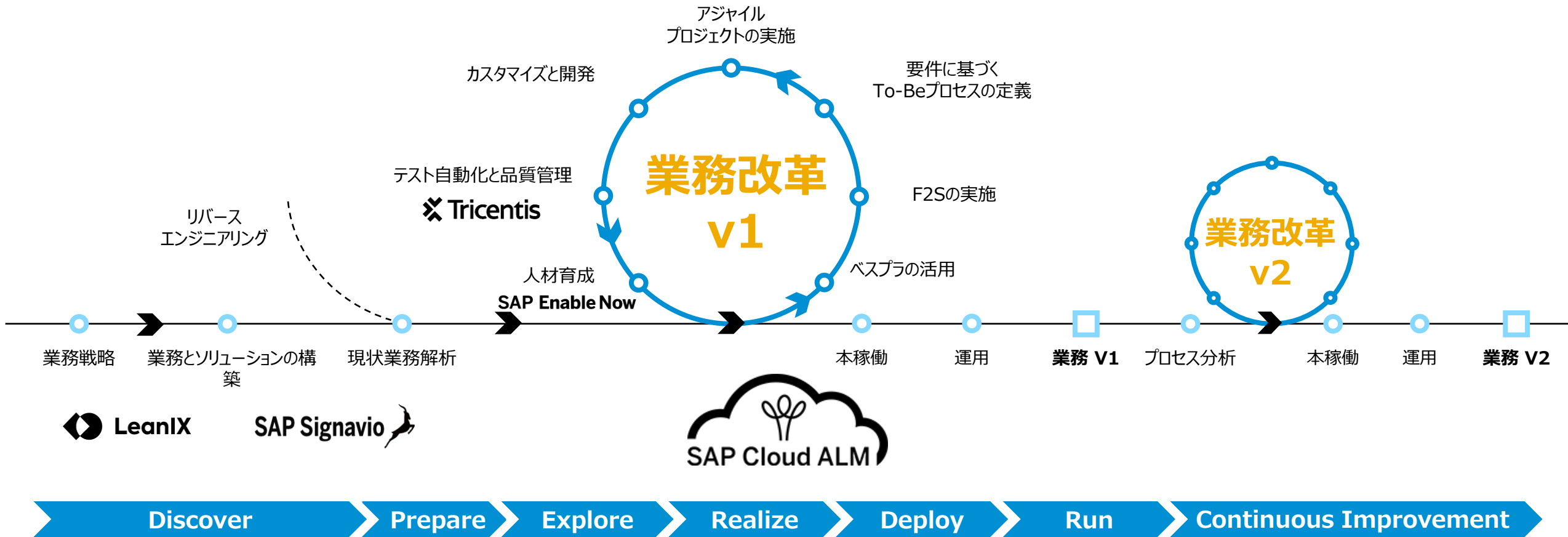


ソリューション

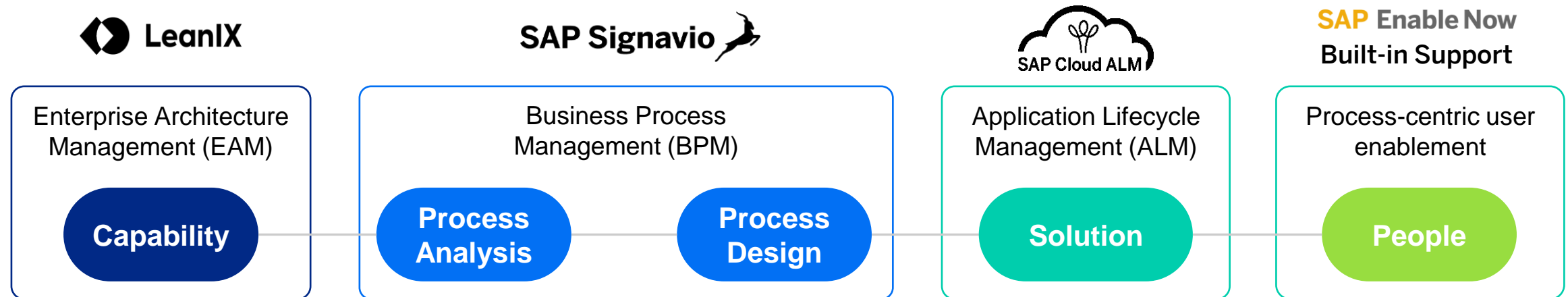


人員

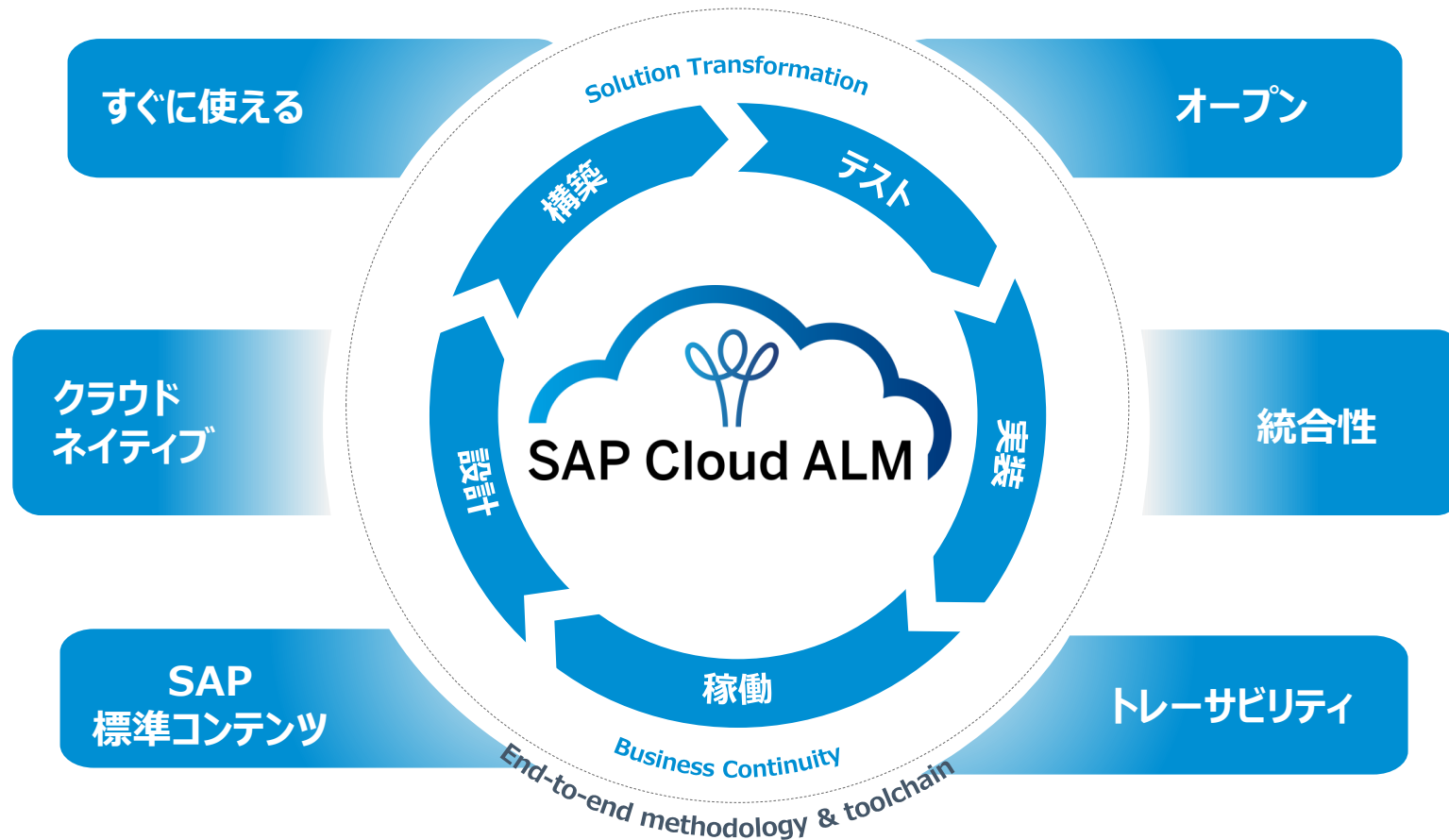
SAPにおけるDX遂行の流れ



The Bigger Picture: Transformation Suite Approach



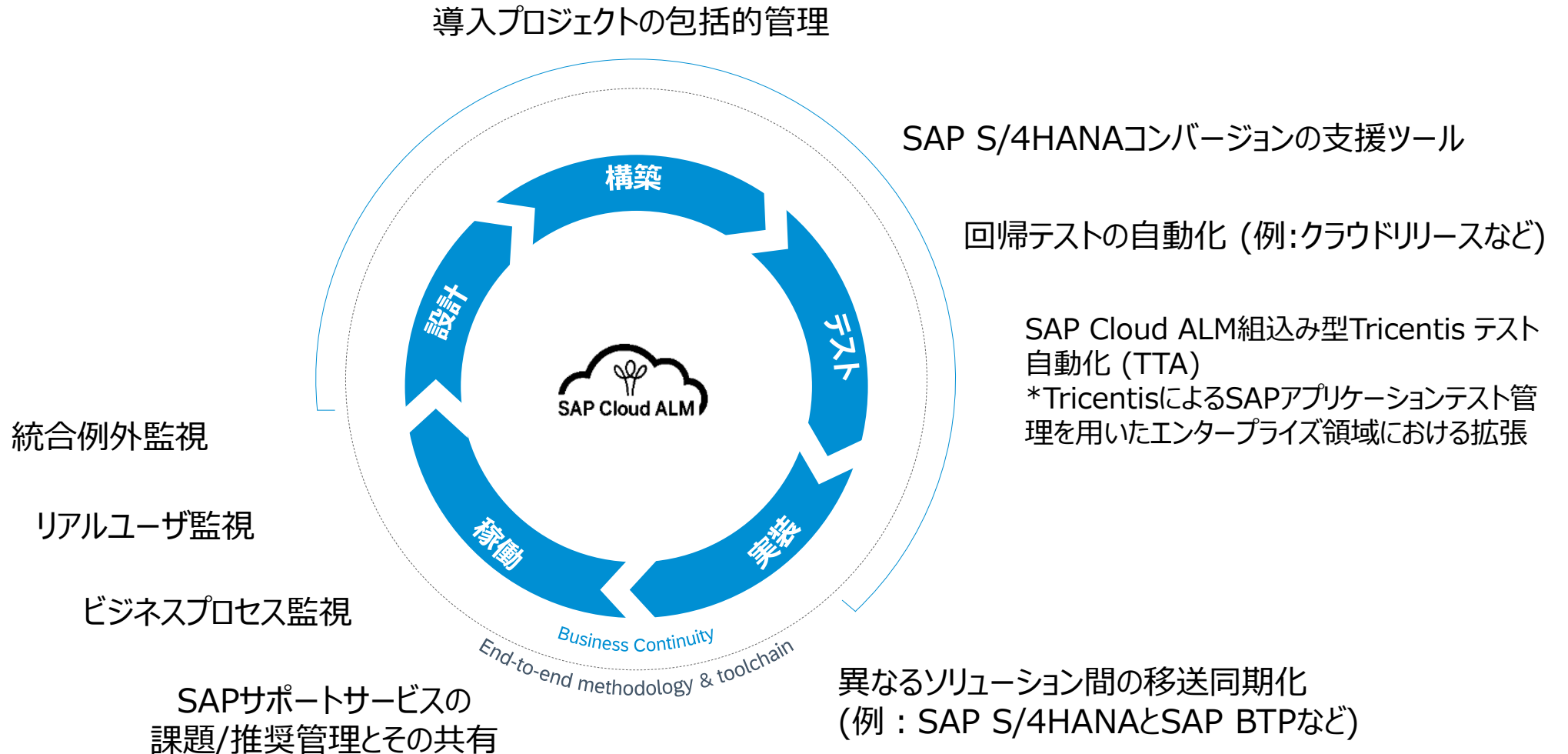
SAPソリューションの管理はSAP Cloud ALMで！



SAP Cloud ALMはインテリジェントエンタープライズとそれに関連するすべてのSAPソリューションの
導入と**運用**両面をカバー

SAP Cloud ALMを用いた貴社SAPソリューションの管理の実現

SAP Cloud ALMの典型的な活用例





SAP Cloud ALMのテナントが複数欲しい



事例

- トレーニング
- 評価、デモ
- 開発、拡張のためのテスト
- 追加の本番テナント

解決策

- カスタマ番号ごとに追加でテナントを持つことができるようになります
- それらのテナントをいつでも利用できます
(※2024年以降、現使用権に基づく範囲)

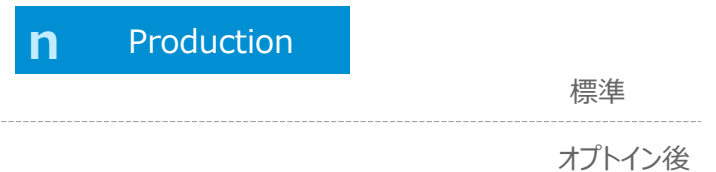
**SAP Cloud ALM標準機能のテストのために
追加のテナントを用意する必要はありません**



制約状況下で回帰テストを実施しなければならない

事例

新リリースに対する拡張機能の回帰テストを1つのSAP Cloud ALMテナントで実施しなければならない

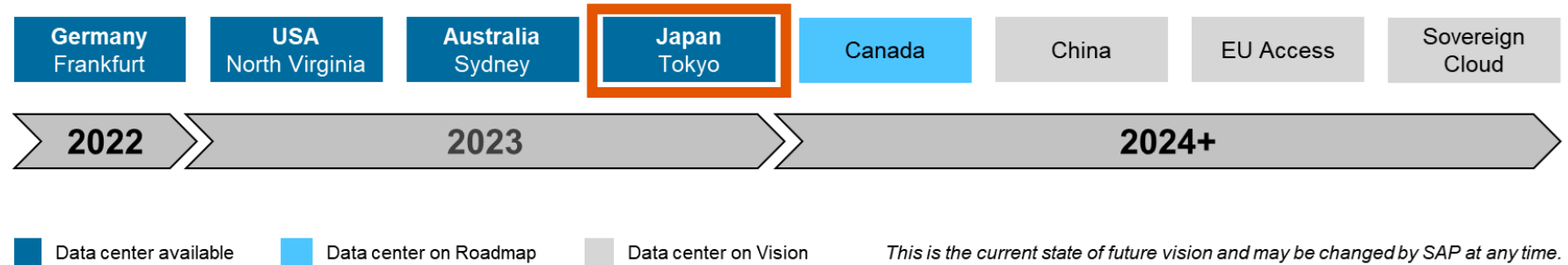


解決策

- 本番featureセットへのアップデートを2週間遅延することが可能です（オプション） [n-1]
- 現行のSAP Cloud ALM featureセット[n]に対して拡張機能の回帰テストを実施することができます

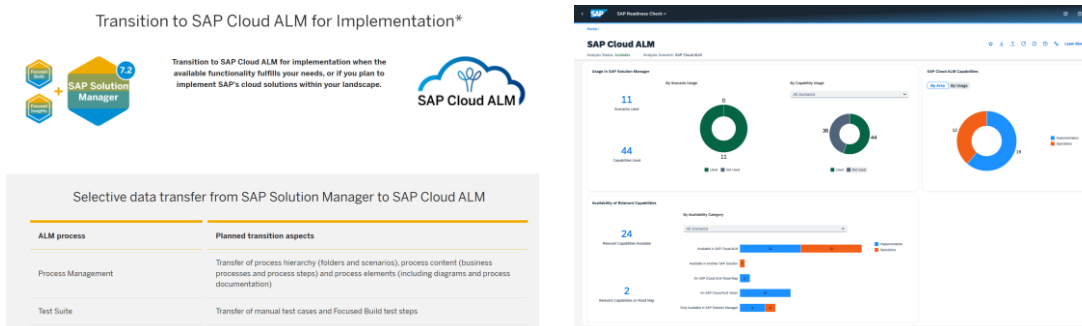


SAP Cloud ALMを最寄りのデータセンターに設置したい





SAP Solution Managerから移行したい*



SAP Cloud ALM
移行情報配信開始

SAP Cloud ALM版
Readiness Check提供

SAP Cloud ALM
実装支援サービス

現在

SAP Cloud ALMの移行手法の提供*

ソリューションごとの選択データ移行ツールの提供

ソリューション文書とテストケース*

2024中旬

この移行を機にALMプロセスの簡素化をご検討ください

*この情報は現時点の計画であり、変更される可能性がある点ご理解ください
SAP Cloud ALMへの移行はSAP Solution Manager 7.2 SPS15以上である必要があります



”

alm.ai を活用したい “



導入管理プラットフォーム.ai

ソリューション文書の生成

要件からマニュアルテストケースの生成

プロジェクトサマリとリスク評価の生成

運用管理プラットフォーム.ai

閾値を用いないアラート通知

例外予測

アラート軽減のための自動推奨



SAP Cloud ALMの機能を拡張してほしい



SAP Continuous Influenceをご活用ください

お客様/パートナー様
機能拡張をリクエスト

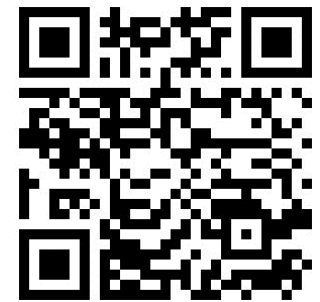
コミュニティー
投票に伴うランク付け

SAP
レビュー・開発



導入管理機能

こちらのリンクからどうぞ!



運用管理機能

導入管理プラットフォームとしての SAP Cloud ALM



SAP Cloud ALMを用いた貴社ソリューションの管理

全てのプロジェクトアクティビティの管理

- SAP Activateテンプレートを用いたアジャイル型導入プロジェクト
- 貴社固有のタスクとユーザストーリーによる拡張
- 事前定義済みの計画とレポーティング

ソリューション品質の維持

- ユーザ受入れから回帰テストまですべてを管理
- テストステップ型のマニュアルテスト
- 組込み型の自動実行エンジン

ソリューション設計

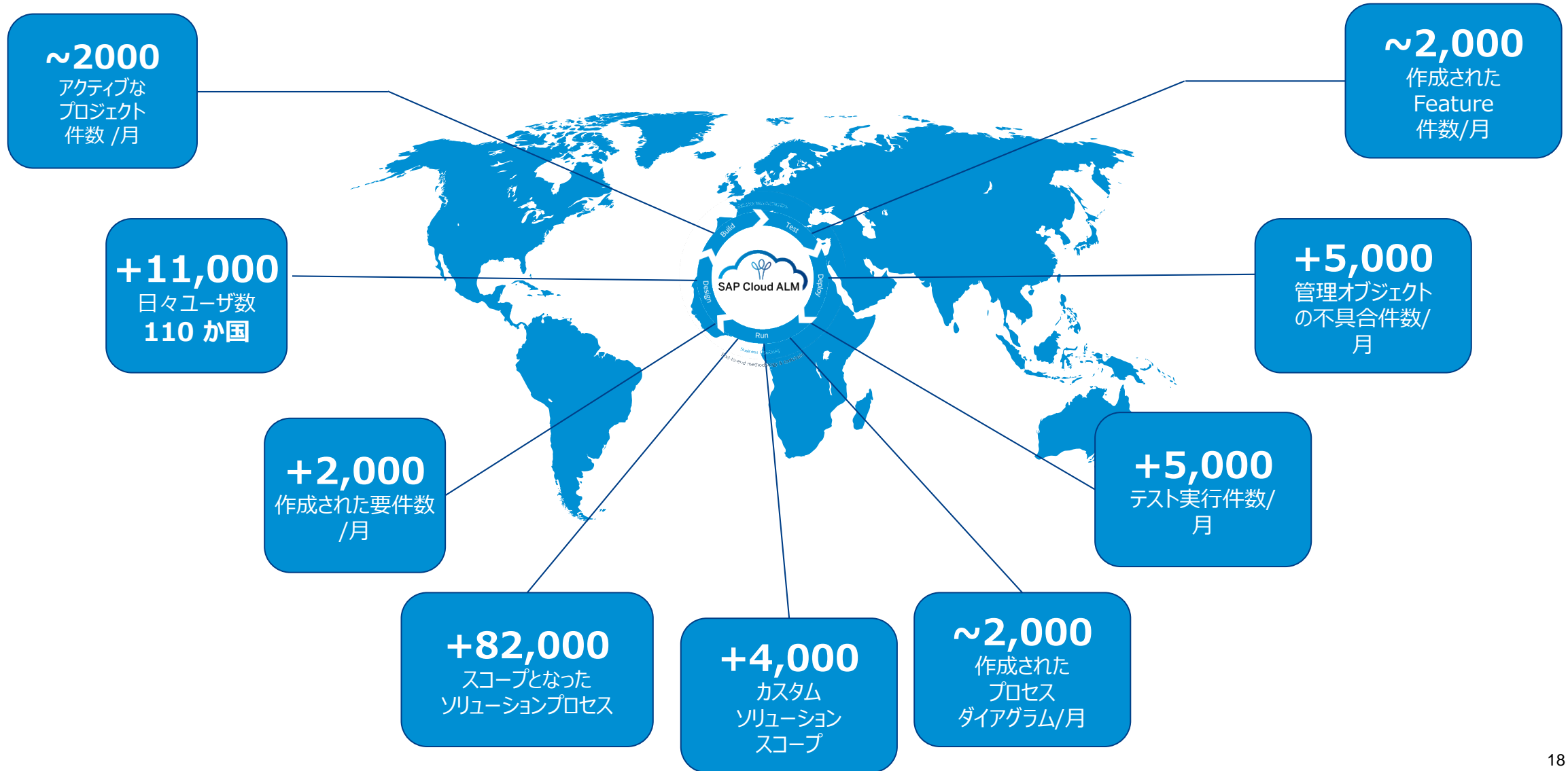
- ベストプラクティスコンテンツ起点のF2Sワークショップの実施
- 貴社固有プロセスの作成
- 未処理タスクとしての要件のとりまとめ

移送管理と本稼働

- 整合性を維持した本番機への計画的リリース
- 変更に対するトレーサビリティと監査証跡の提供



SAP Cloud ALMを用いたSAPプロジェクト管理の実績

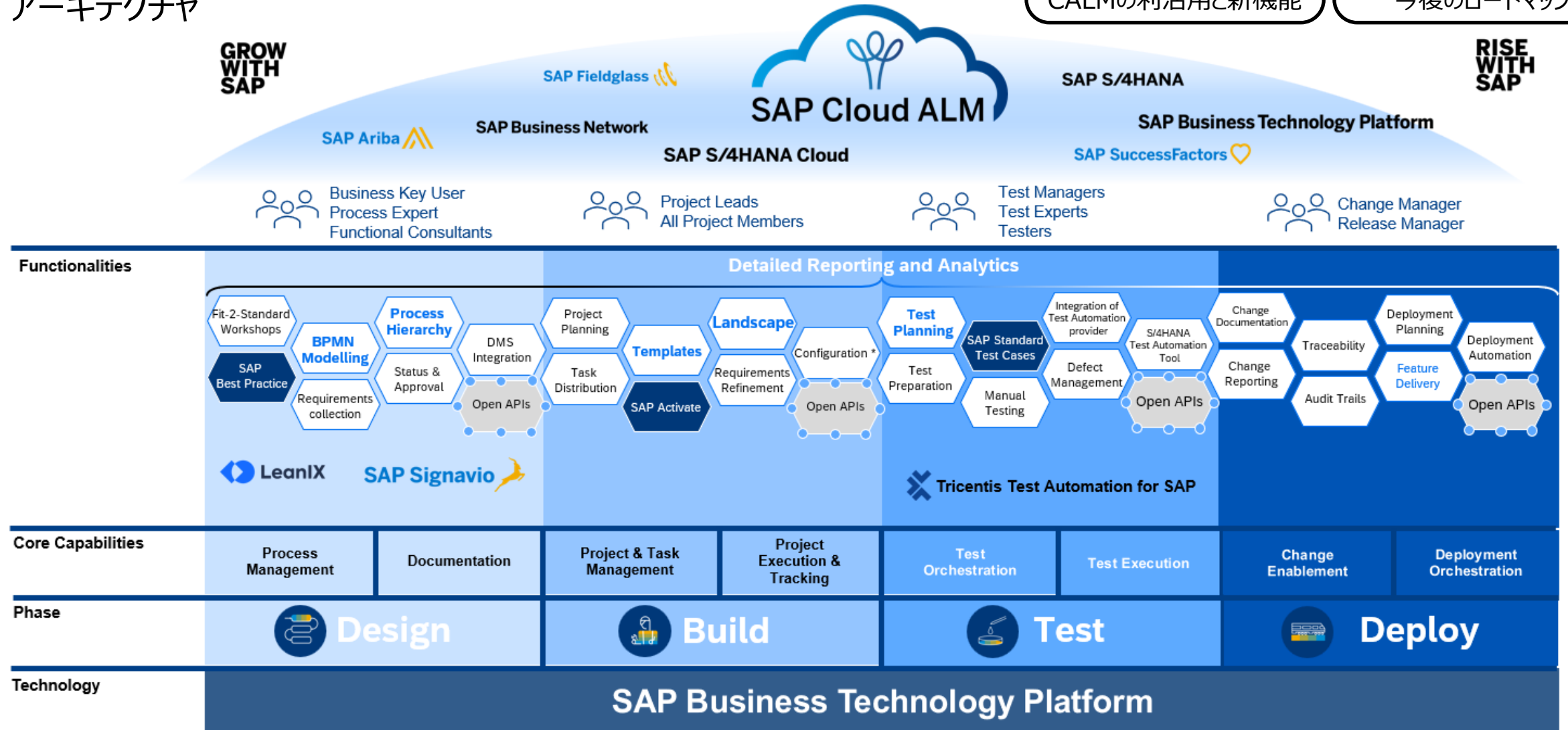


SAP Cloud ALM for Implementation

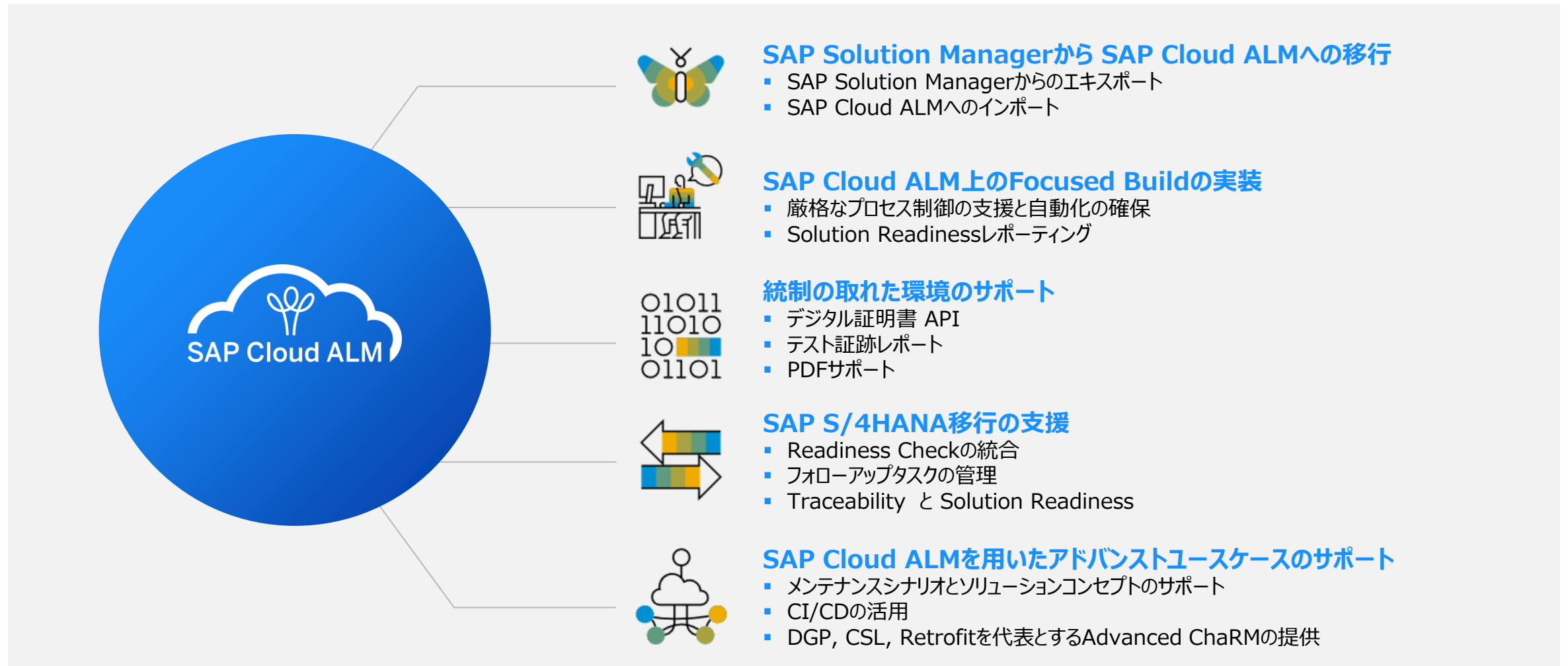
アーキテクチャ

12/12 14:00-14:50
Intelligent Enterprise
の導入シーンにおける
CALMの利活用と新機能

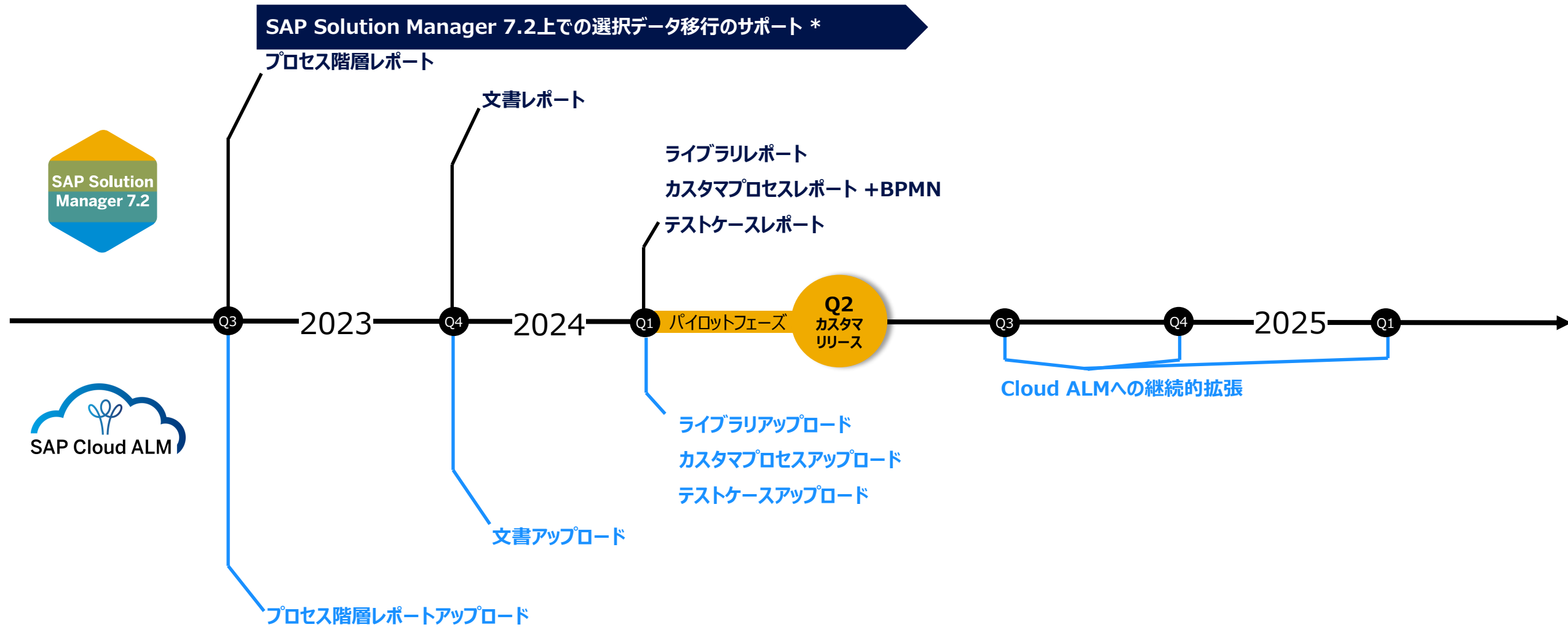
12/12 15:00-15:50
SAPクラウドにおける
移送管理の今と
今後のロードマップ



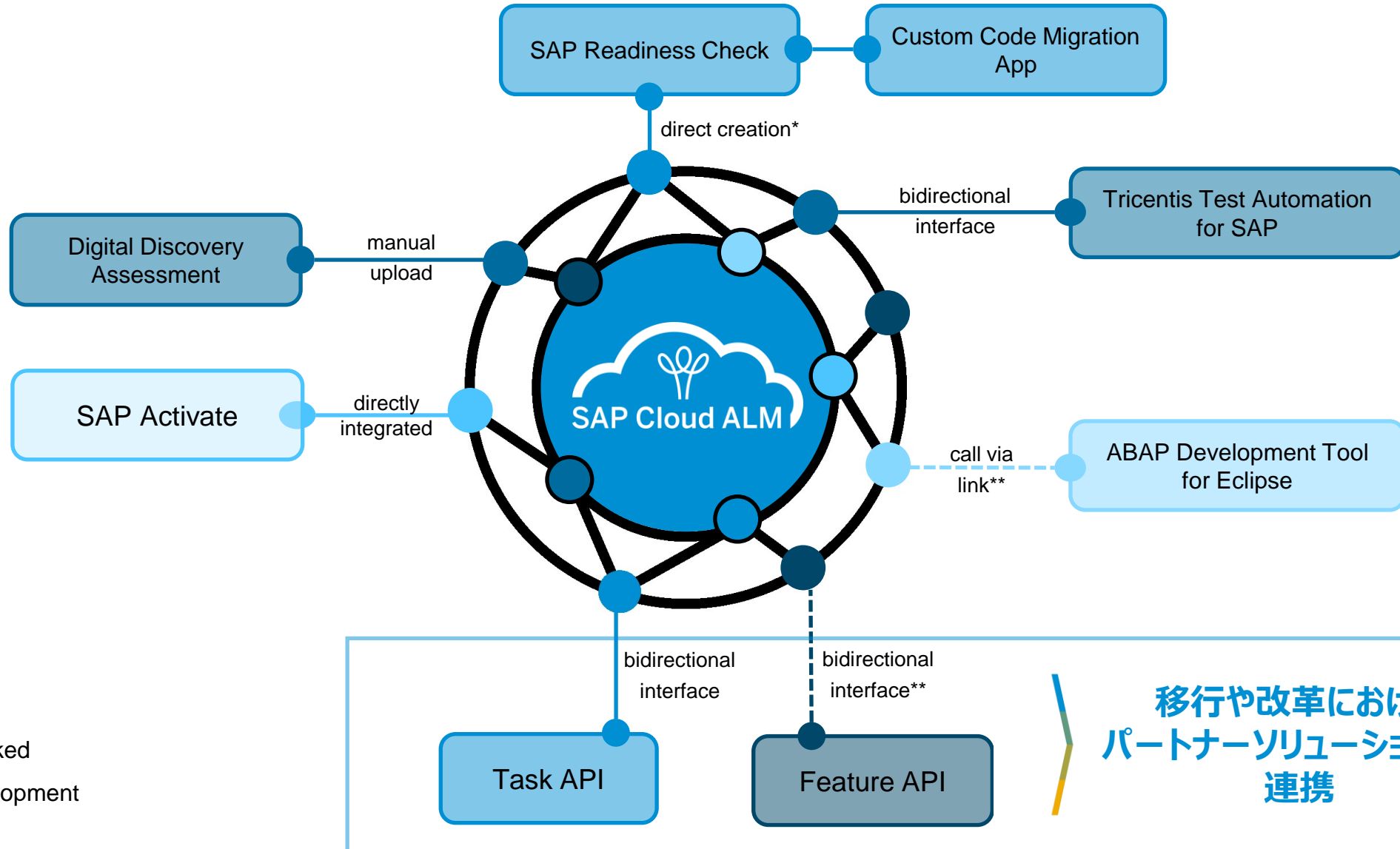
SAP Cloud ALM for Implementationロードマップ



SAP Solution ManagerからSAP Cloud ALMへの移行計画 – 導入編



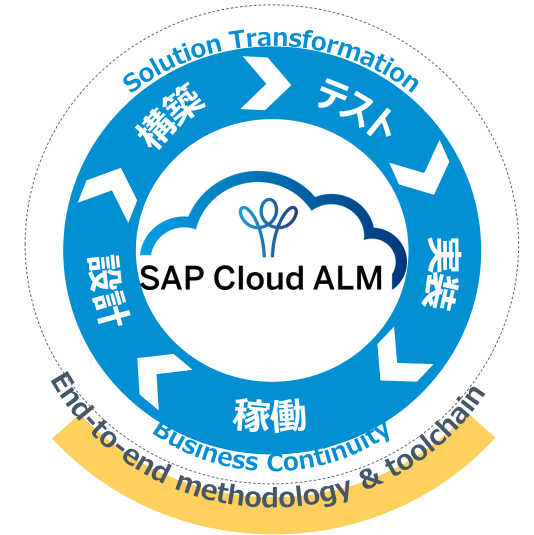
SAP S/4HANA移行において中核的な役割を担うSAP Cloud ALM



* integration is reworked

** integration in development

運用管理プラットフォームとしての SAP Cloud ALM



SAP運用管理プラットフォームの現状

オンプレミス

お客様/パートナー様
管理下環境

カスタマDC, ハイパースケラー DC,
ホスティング/AMSパートナー DC



RISE with SAP

SAP Fieldglass

SAP Customer Experience

SAP Business Technology Platform

SAP SuccessFactors SAP Ariba

SAP S/4HANA Cloud SAP Concur

SAP管理下環境

SAPプライベートクラウド&
SAPパブリッククラウド

クラウド

12/11 14:10-15:00

SAPクラウド製品に対する
システム運用の深化

12/11 15:10-16:00

業務プロセス監視を用いた
業務継続性への効果

12/12 16:00-16:50

SAPオンプレミス環境を含む
大規模システムの
一元監視

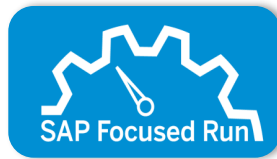
SAP運用下環境
お客様およびパートナー様利用



お客様運用下環境
お客様およびパートナー様利用



SAP運用下環境
SAP利用



SAP Solution ManagerからSAP Cloud ALMへの移行計画 – 運用編

まずは運用機能からの移行を検討しませんか



オプション 1:
システム管理において固有の要件がない、あるいは標準化に向けた見直しが可能な場合、

SAP Cloud ALMを用いた運用へ移行を推奨
(例 クラウドサービスのみ、あるいは小規模なABAPベースのオンプレシステム、サービスプロバイダーによるシステム管理下環境など)



オプション 2:
システム管理において厳格な要件、あるいは従来のオンプレ環境に近いきめ細やかなシステム管理を求められる場合、

SAP Focused Runを用いた運用へ移行を推奨
(例 ハイブリットあるいは複雑環境下におけるアドバンストな管理が求められる、サービスプロバイダーを提供する方)



SAP Cloud ALM と SAP Focused Runは並行して利用することも可能です。

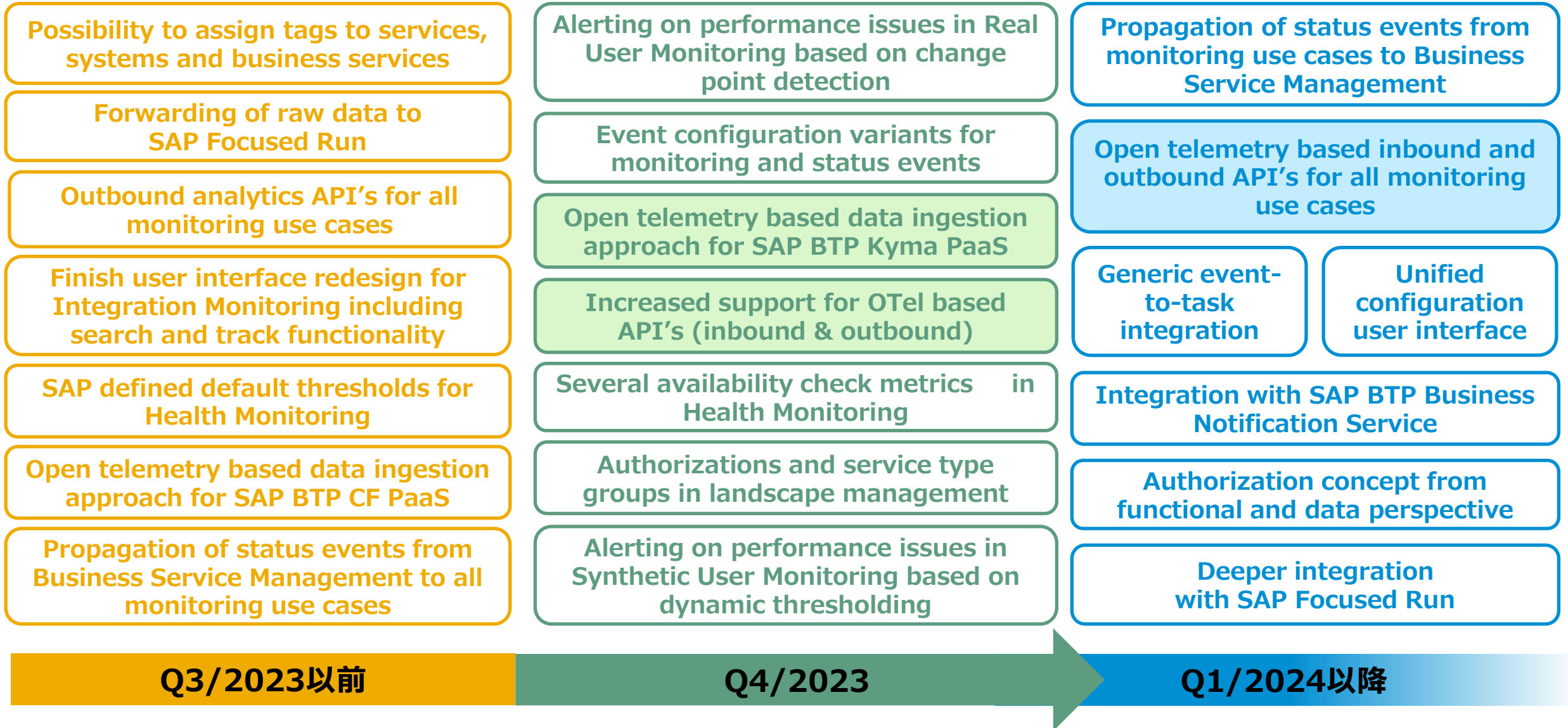
例：ビジネスプロセス監視、ビジネスサービス管理などSAP Focused Runでカバーできない領域をSAP Cloud ALMで補完

SAP Cloud ALMとSAP Focused Runの比較



利用対象ユーザ	業務・ITユーザ	ITユーザ 専門家
監視カバレッジ	業務プロセス/システム監視	システム監視
オンプレミス環境への適応	制約付きシステム監視	システム監視系 フルコンテンツ (RCA,EWAなど)
対象システム規模	サイズ：M~L	サイズ：L~XL
監視データボリューム規模	サイズ：M	サイズ：L
対象ランドスケープ	クラウド中心型	ハイブリッドランドスケープ
監視データ抽出手法	エージェントレス(API)	エージェントベース
カスタマ規模	複数カスタマ 想定外	複数カスタマ 管理可
分析ツール	外部連携 要	組込型 & 外部連携 可
運用自動化	外部連携 要	組込型
イベント&アラート管理	監視機能とは 分散	監視機能と 統合

SAP Cloud ALM for Operations – 機能ロードマップ



Open Telemetry活用の目的

Open Telemetryとは、ソフトウェアのパフォーマンス、挙動分析を支援するフレームワーク

- API, SDKおよびツールの集合体を提供
- テレメトリデータ(監視情報、ログ、トレース)の操作、生成、収集、エクスポートが実行可能
- 多言語サポート

SAPがOpen Telemetryをサポートする理由

- **オープンソースコミュニティ**の成果を活用
計装の実装の**手間を最小限に抑える**
- プッシュ/プル側のデータ収集の一元化により、**SAP SaaSにおける複雑さを軽減**
運用作業の軽減
- **標準のOTLPプロトコルに基づくデータ連携**
サードパーティ、様々な地域や国に配置されているデータセンタをまたがったデータのやり取りが可能

オープンテレメトリシグナルのサポート計画

SAP Cloud ALM 運用機能	Metrics		Logs		Traces	
	Outbound	Inbound	Outbound	Inbound	Outbound	Inbound
ビジネスプロセス監視	Yes (2024)	Yes (2024)	No	No	No	No
統合監視	Yes (2024)	No	Yes (2023)	Yes (2024)	No	No
例外監視	Yes (2024)	No	Yes (2023)	Yes (2023)	No	No
リアルユーザ監視	Yes (2023)	Yes (2024)	No	No	Yes (2023)	Yes (2023)
シンセティックユーザ監視	Yes (2024)	No	No	No	Yes (2024)	Yes (2024)
ジョブ及び自動化の監視	Yes (2024)	No	Yes (2023)	Yes (2024)	No	No
設定およびセキュリティ分析	No	No	Yes (2023)	Yes (2024)	No	No
ヘルス監視	Yes (2023)	Yes (2023)	No	Yes (2024)	No	No
ビジネスサービス管理	Yes (2024)	No	Yes (2023)	Yes (2024)	No	No
インテリジェントイベント処理	No	No	Yes (2024)	Yes (2024)	No	No

SAPサポートを最大限活用するための SAP Cloud ALM



全く新しいサービスデリバリ基盤の提供

SAP Cloud ALM for Service

12/11 16:10-17:00
SAPサポートサービスの
効果的な管理手法と将来像

SAPクラウドの機能を活用しSAPサービスデリバリプロセスをさらに改善

- ✓ SAPが運用・保守するサービスデリバリを提供するためのクラウド型ソリューションを導入
- ✓ サービスデリバリーのエンド・ツー・エンドプロセスに関わるすべての人が成果物、アクションアイテム、結果を共有するためのコラボレーションプラットフォームを導入
- ✓ サービス提供のエンド・ツー・エンドプロセスにおけるコラボレーションの効率化
- ✓ サービス実施結果のラップアップレポートのフォーマットを標準化・デジタル化



SAPプレミアム・エンゲージメント、SAPエンタープライズ・サポート、SAPプリファードサクセスのサービス・デリバリーが対象

カスタマサポートにおけるAIを活用した解析と今後の革新

データレイクとの連携および活用

カスタマサポートライフサイクル全体にまたがる
AIと学習モデルの実装

課題回避と迅速な問題検知、サポート効率化の確保



次へのステップ: 学習モデルとAIの活用範囲の拡充

補足資料



SAP Cloud ALM – 使用権

SAP Enterprise Support には、すべてのお客様が必要とされる ALMソリューションをご利用いただくための使用権が付帯されています。使用権に含まれるSAP Cloud ALMにおいて、利用可能なリソースの上限が設けられています。

使用権に含まれる利用可能リソース：8 GB メモリ、8 GB データ送信量/月、4 GB CloudTMS

利用用途によっては、メモリやデータ送信料の上限を超えたり、高度な機能ニーズがあったりする場合があります。これは、SAP Enterprise Support の対象外となります。

メモリ使用例：8GB に加えて追加の 8 GB メモリを使用する場合、チャージは年間 7,200ユーロ になります。

リソース消費を可視化することができるツールがSAP Cloud ALMで提供され、定常的に管理することができます。

**使用権にて提供されているメモリ使用上限を超えると、課金請求対象となります。
ただし、SAPはお客様との合意がされる前に、請求を行うことはありません。**

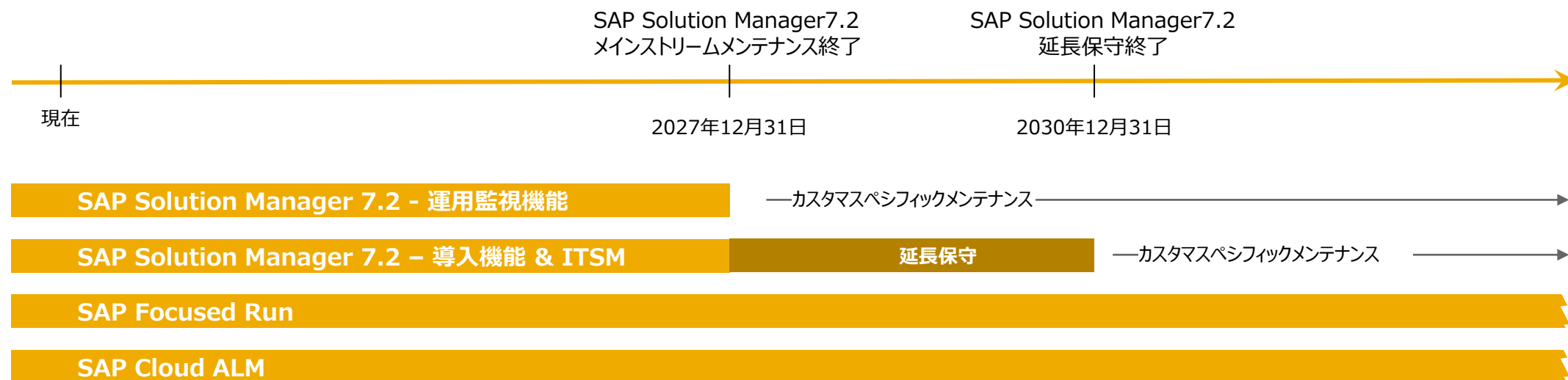
[使用権についてはこちら](#)

SAP ALM プラットフォーム – 保守期限のまとめ

SAP Solution ManagerのメインストリームメンテナンスはSAP Business Suiteのそれに準拠します

- SAP SolMan7.2のプロセス管理、テストスイート、変更統制管理、ITSMの延長保守は、SAP Business Suite 7の延長保守に含まれています
- SAP SolMan7.2の運用監視機能は、カスタムスペシフィックメンテナンスによって、2027年以降もご利用可能です*
- SAP SolMan7.2の導入機能およびITSMは、2030年12月31日までは延長保守、それ以降はカスタムスペシフィックメンテナンスによって、2030年以降もご利用可能です*
- SAP SolMan7.2の後続リリースについては現時点で計画はございません

SAP Cloud ALMおよびSAP Focused RunはSAP Business Suiteとは無関係に、2030年以降もメインストリームメンテナンスが継続されます。また、SAPはオンプレミス環境における新しいALM製品を提供する予定はございません



SAP Cloud ALM for Implementationにおけるこれまでの提供済み機能群

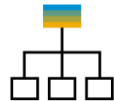
Projects & Tasks

- Cards View
- Daisy Chain of items
- Automatic rescheduling
- Templates
- Custom deliverables
- Duration & Effort
- Involved parties
- Easier sub task management



Processes

- Copy & edit of standard processes
- Process Hierarchies (incl. ex & import)
- Upload SVG & BPMN
- Accelerators & Assests
- New authorizations



Solution Documentation

- New solution documentation app
- Integration into processes
- Processors, Status
- Document types



Testing

- Support mutiple automation providers
- Tricentis Test Automation for SAP
- Test Planning
- Copy of test cases



More Content

Support all major SAP Cloud solutions with process and task content



Change & Deployment

- ATO for S/4HANA Cloud
- SAP Build & SAP Analytics Cloud via cTMS
- Releases, System Groups and assignment to project, requirement & feature
- Direct creation of transports
- Transport of Copies
- More Fine granular authorizations



Analytics & Reporting

- Cross Project Analysis
- Integration of test plans, efforts into all reports
- More recommendations
- Indirect assignments & Traceability enhancements

Tags, Notifications

- In-App Notifications
- eMail Notifications
- Tag merging, Tag search
- Integration of tags in nearly all entities



APIs

- Custom Process API
- Process Scoping API
- Resource Change API



Integrations

- CIAS
- Enhancement of CBC
- SAP Enable Now



Disclaimer

The information in this presentation is confidential and proprietary to SAP and may not be disclosed without the permission of SAP. Except for your obligation to protect confidential information, this presentation is not subject to your license agreement or any other service or subscription agreement with SAP. SAP has no obligation to pursue any course of business outlined in this presentation or any related document, or to develop or release any functionality mentioned therein.

This presentation, or any related document and SAP's strategy and possible future developments, products and or platforms directions and functionality are all subject to change and may be changed by SAP at any time for any reason without notice. The information in this presentation is not a commitment, promise or legal obligation to deliver any material, code or functionality. This presentation is provided without a warranty of any kind, either express or implied, including but not limited to, the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, or non-infringement. This presentation is for informational purposes and may not be incorporated into a contract. SAP assumes no responsibility for errors or omissions in this presentation, except if such damages were caused by SAP's intentional or gross negligence.

All forward-looking statements are subject to various risks and uncertainties that could cause actual results to differ materially from expectations. Readers are cautioned not to place undue reliance on these forward-looking statements, which speak only as of their dates, and they should not be relied upon in making purchasing decisions.